

第45回光学シンポジウム「実用的な最先端の光学設計/ 光計測/光学素子/光学システム」講演募集

光学シンポジウムは、光学設計者・技術者の皆様が日頃の研究、開発の成果を発表し、討論する場として、毎年開催されています。本年も下記の要領で第45回光学シンポジウムを開催いたします。多数の皆様の積極的な応募をお願いいたします。

期 日：2020年6月24日(水)～26日(金)

場 所：東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール(東京都目黒区駒場4-6-1)

主 催：日本光学会

共 催：応用物理学会フォトニクス分科会

応募講演の性格および内容：a) 原則として未発表のものとし、ただし、既発表のものの一部重複があっても、光学に関わる新規な内容が含まれていれば発表可能です。b) 内容は、光学システムおよび光学素子の設計、製作、評価に関連した講演を中心として、日本光学会の活動の全分野を対象とします。特に、これに関連した実際的な問題に踏み込んだ講演を歓迎し、また問題提起の講演も認めます。

応募資格：日本光学会(入会予定含む)、応用物理学会、SPIE、OSA、OSK、および協賛の学協会会員

応募方法：ホームページの講演応募方法をご参照の上、電子メールにてご応募下さい。光学シンポジウムホームページ http://myosj.or.jp/event2/opt_symp

応募先：光学シンポジウム実行委員会講演担当

E-mail optsymp45-sp@myosj.or.jp

応募締切：2020年3月9日(月) 必着

予稿提出：採用した講演については、所定フォーマットのPDF形式の電子ファイルを提出していただきます。詳細は、後日案内予定の予稿原稿の書き方、ホームページをご参照ください。

予稿締切：2020年4月20日(月) 必着

問い合わせ先：三菱電機(株) 桑田宗晴

E-mail optsymp45-aud@myosj.or.jp

第125回触媒討論会特別シンポジウム

触媒学会では、注目度の高いテーマや他分野と境界領域のテーマを選定し、産学官の第一人者の方々にご講演をお願いしています。今回は「機能性材料開発を支える触媒技術」および「光・電気・電場などが係わる革新的反応」の2つのテーマで開催します。

期 日：2020年3月27日(金) 14:30～17:30

場 所：工学院大学新宿キャンパス(東京都新宿区西新宿1-24-2)

主 催：触媒学会

協 賛：日本光学会、日本化学会ほか

参加費：一般4,300円、学生2,200円

参加申込：当日13時30分より総合受付にて受付を開始します。

問合せ先：触媒学会事務局

電話 03-3291-8224 E-mail catsj@pb3.so-net.ne.jp

URL <http://www.shokubai.org/>

JOEM「光学実験入門」技術講座

日 時：2020年3月5日(木) 10:00～17:25, 6日(金) 9:00～15:15(2日間)

講 師：斎藤晴司(元ニコン)

場 所：機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会ほか

参加費：協賛86,020円(テキスト・消費税含む)

定 員：8名

申込期限：2020年2月27日(木)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 *news* の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 *news* 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第47巻第12号（2019年12月号）目次

「大気中における光空間伝送技術の研究開発動向」特集号

レーザーコンパス

継続は力だったのか？……………甲藤正人

《特集》

レーザー解説

「大気中における光空間伝送技術の研究開発動向」特集号に
よせて……………荒木智宏
衛星-地上間光通信の研究開発動向……………白玉公一
レーザーガイドスターを用いた大気補償技術の研究開発動向
……………早野 裕
大気揺らぎ環境下における高安定光送受信技術
……………安藤俊行, 矢吹麻菜, 原口英介
光エネルギー伝送時に生じる波面揺らぎ
……………早川明良, 池 康宏, 長岡隆二, 永井 亨, 和仁郁雄

移動体に対する光空間伝送実現に向けた大気揺らぎの計測技術
……………高山佳久

レーザーオリジナル

空間光通信における受信光学系へのホログラムの適用
……………山下泰輝, 涌波光喜, 市橋保之, 高山佳久

レーザーフラッシュ

15th International Conference on Laser Ablation (COLA2019)
会議報告……………古川雄規
ICALEO 2019 会議報告……………原 隆裕

著者紹介

セルフフォーカス
レーザーカレンダー

「応用物理」第89巻第2号（2020年2月号）予定目次

解説

CMOS イメージセンサの現状と将来展望……………大池祐輔
3次元集積化技術の現状と将来展望……………大場隆之, 中村友二
IoTを加速する。電池を代替する磁歪振動発電とその将来展望
……………上野敏幸

研究紹介

超高圧力下での直接窒化反応による白金族金属二窒化物の創製
……………長谷川正, 丹羽 健
窒化物半導体 ZnSnN₂の合成と電子物性……………川村史朗, 山田直臣

基礎講座

「応用物理と人工知能」……………『応用物理』編集委員会

スピントルク発振素子を用いた人工ニューロン
……………常木澄人, 久保田均

技術ノート

スマホの無線技術……………石崎俊雄
ホッとひといき

令和に響く輪島塗
……………八井 浄, 浅岡秀彦, 吉田勇太, 八井 崇

Inside Out

研究室, 海を渡る……………疋田育之
Science As Art

雪山へ舞う白鳥……………安藤紗絵子, 根本諒平, 山田豊和